



1学期しめくくりの1ヶ月を迎えました！



早いもので1学期最終の月となりました。あと20日で1学期が終わります。子どもたちがそれぞれに立てた目標にどの程度迫れているのでしょうか。いずれにしても「終わりよければ、すべてよし」ではありませんが、最後のひと踏ん張りです。1学期をしっかりとしめくくり、気持ち良く夏休みを迎えたいところです。

さて、4月のスタートから3ヶ月。新型コロナウイルス感染症の収束が困難な中、日々の授業や学校行事等において子どもたちの学びを止めないよう、配慮・工夫して取り組んできました。子どもたちが自分や学級・学年の目標に向かって精一杯がんばっている姿を見ると、とてもすがすがしく頼もしく感じます。

一方、集団生活の中では、仲間の個性を受け入れること、自分の主張と自分勝手の境目を知ること、しんどいことから逃げてしまいたいということ、自分を守る意識から人を傷つけたり攻撃したりする言葉が出てしまうことなど、ねばり強い指導と支援が必要な場面も見られます。しかし、様々なことに葛藤しながらも経験を積み重ねていく姿は尊く、自らを成長させるチャンスでもあります。

6月13日発行の「東の小窓」にあったように、学校に行くことは子どもたちにとってとてもエネルギーが必要なことだと思います。保護者の方にとっても学校に子どもたちを送り出していただくことは同様にエネルギーが必要なことだと思います。保護者の皆様も子どもたちも、貴重なエネルギーを使って毎日学校に送り出していただいていること、学校に来てくれていることに感謝の気持ちでいっぱいです。1学期も残り1ヶ月。子どもたちはもちろん、子どもに関わるすべての大人も前向きな形でしめくくれるようともに前進してまいりましょう。

確かな成長を感じた校内音楽発表会

今年度も、感染症対策のため、保護者の方の参観をご遠慮いただき、学年ごとに体育館で発表をし、発表以外の学年は教室等で映像配信を鑑賞する形で行いました。

発表会に向けてどの学年も工夫しながら一生懸命学習に取り組んできました。当日はこれまでの学習成果を十分に発揮し、素晴らしい発表を行いました。特に、リズムを体全体で感じながら表現したり、仲間が奏でる楽器の音をしっかりと聞きながら学年全体でまとまった合奏をめざしたりする姿に感動し、子どもたちの成長を実感することができました。



5年生合奏「キリマンジャロ」

保護者の皆様にはこれまで励ましのお声かけなどご支援いただき感謝しています。今後とも子どもたちの確かな成長に向けてご協力のほどよろしくお願いいたします。